

地形・地質

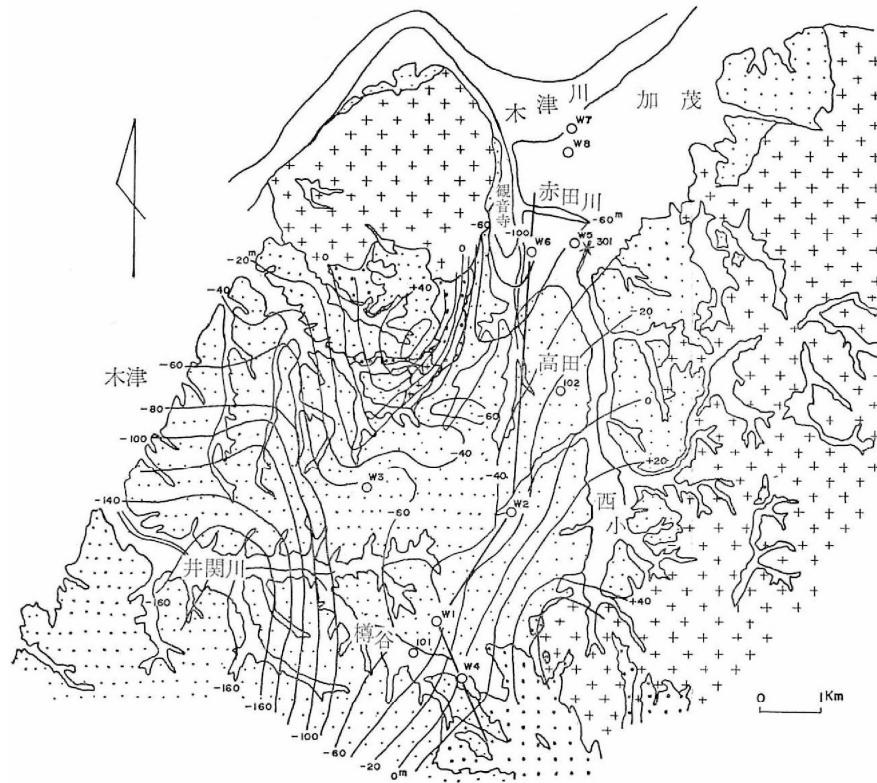
相楽丘陵は京都盆地と奈良盆地の接合点に当たり、東西 3km、南北 2km で、丘陵の標高 100m 前後です。丘陵を刻む水系は木津川支流の赤岡川と井関川です。

地下水

相楽丘陵の地下水について、いままでほとんど明らかにされていません。深井戸の揚水量から、ソノハ礫層は比較的良好に膠結されているため難透水層と考えられます。

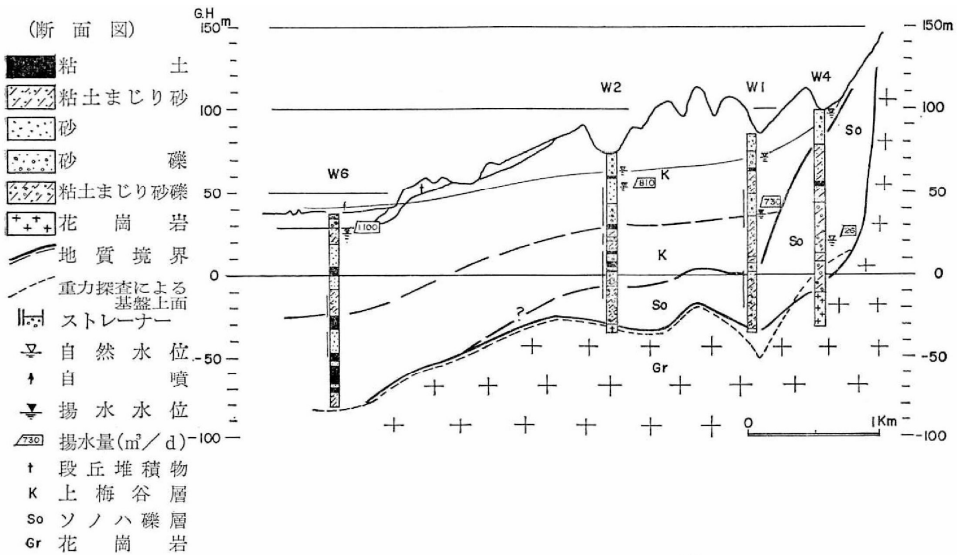
相楽丘陵の地層層序

地質時代	地層	
完新世	沖積層	
更新世	中位段丘堆積物	
	高位段丘堆積物	
	大阪層群	市坂砂泥互層
		下梅谷礫層
上梅谷砂層		
鮮新世	ソノハ礫層	



1. 沖積層 2. 段丘堆積物および大阪層群 3. ソノハ礫層、西小礫層 4. 花崗岩
 および古生層 5. 重力探査による基盤等高線 (E L, m) 6. 深井戸 7. 浅井戸
 水質調査地点 8. 地表水水質調査地点

相楽丘陵の基盤等高線図



相楽丘陵の地下構造断面図

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ, 1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.iagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html> (日本地下水学会)